

第 6 章

共有フォルダの設定

この章ではホスト OS とゲスト OS の間でフォルダを共有するための設定を行う手順を解説します。

6.1 仮想マシンへの共有フォルダ追加

VirtualBox マネージャーを開きます。Ubuntu が実行中の場合は、終了してください。



図 6.1 VirtualBox マネージャー

VirtualBox マネージャーで「 Ubuntu 16.04 」を選択し、「 設定 」ボタンをクリックします。

第 6 章 共有フォルダの設定

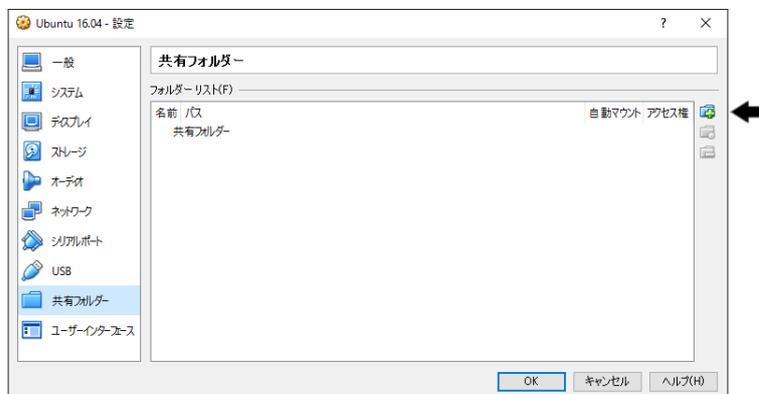


図 6.2 フォルダ追加アイコンをクリック

設定ダイアログで「共有フォルダ」セクションを選択し、右端にあるフォルダ追加アイコンをクリックします。

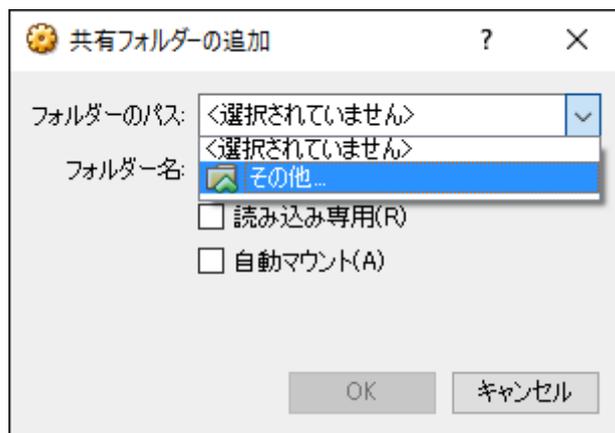


図 6.3 フォルダのパスを選択

セレクトボックス「フォルダのパス」から「その他」を選択します。

6.1 仮想マシンへの共有フォルダ追加

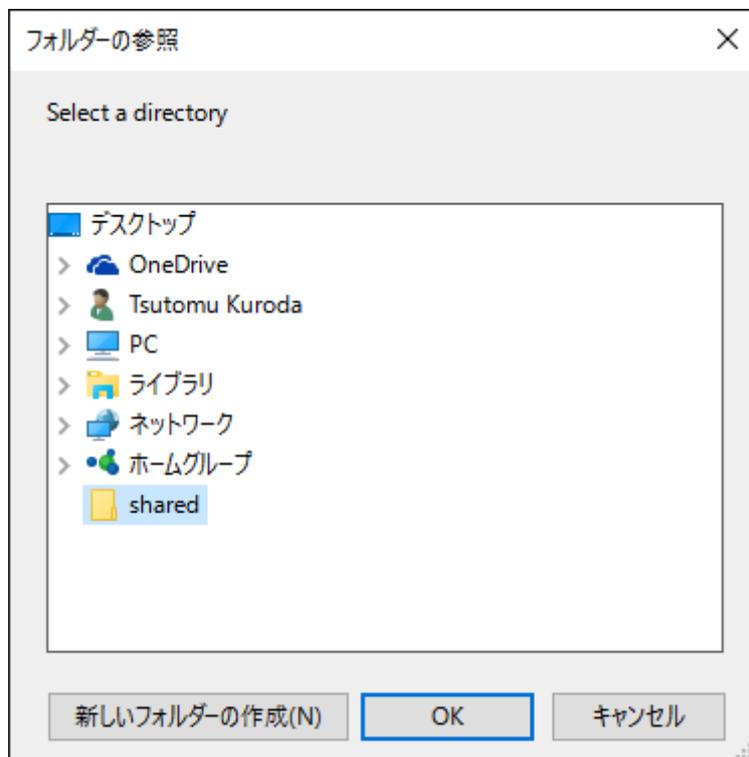


図 6.4 shared フォルダを作成して選択

「フォルダーの参照」ダイアログが開きます。「デスクトップ」を選択してから「新しいフォルダーの作成」ボタンをクリックし、「shared」と入力して Enter キーを押します。そして、「shared」フォルダを選択したうえで「OK」ボタンをクリックします。

第 6 章 共有フォルダの設定

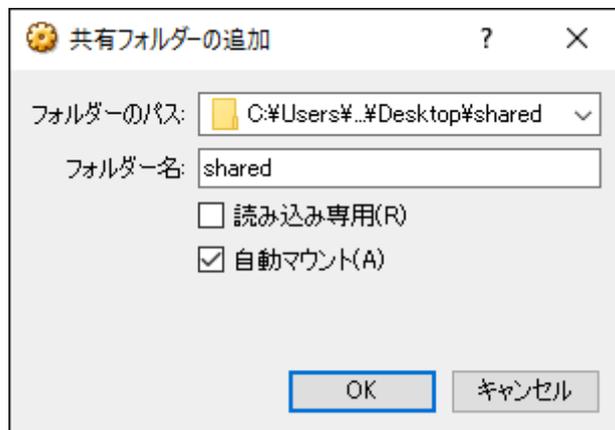


図 6.5 「自動マウント」をチェックする

チェックボックス「自動マウント」をチェックして、「OK」ボタンをクリックします。

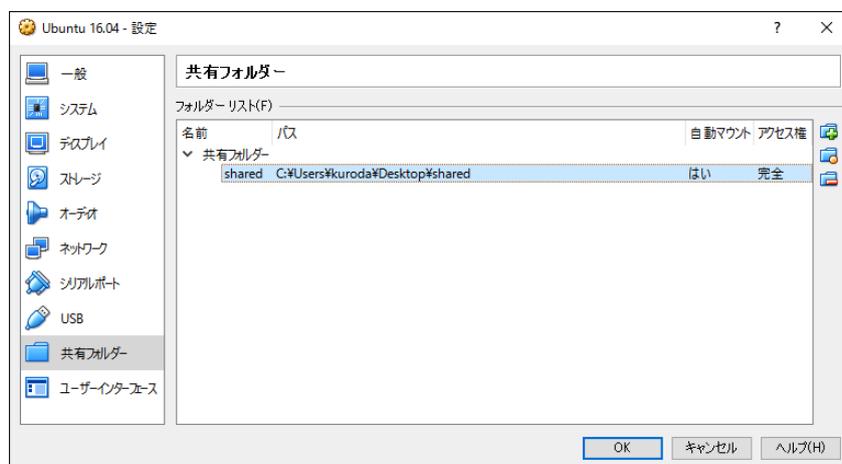


図 6.6 共有フォルダの追加完了

共有フォルダが正しく追加されたことを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

6.2 共有フォルダのアクセス権設定

VirtualBox マネージャーで「 Ubuntu 16.04」を選択し、「 起動」ボタンをクリックします。パスワードを入力して Ubuntu にログインします。

端末を起動して、以下のコマンドを順に実行してください。

```
$ sudo usermod -a -G vboxsf kuroda
$ ln -s /media/sf_shared ~/shared
```

ただし、1 番目のコマンドの `kuroda` は、Ubuntu インストール時に設定したユーザー名で置き換えてください。

システムメニューの「 ログアウト」を選択し、表示されるダイアログで「 ログアウト」ボタンをクリックして Ubuntu からログアウトします。そして、もう一度、パスワードを入力してログインしてください。

6.3 共有フォルダへの書き込み試験

ゲスト OS(Ubuntu) の端末で次のコマンドを実行します。

```
$ echo TEST > ~/shared/test.txt
```

ホスト OS(Windows) のデスクトップにある「 shared」フォルダを開き、そこに `test.txt` という名前のファイルができていることを確認してください。

次に、このファイルをメモ帳で開き、その中身を「 TEST」から「 OK」に変更して保存します。

ゲスト OS(Ubuntu) の端末に戻り、次のコマンドを実行します。

第 6 章 共有フォルダの設定

```
$ cat ~/shared/test.txt
```

端末に「OK」と表示されれば共有フォルダが正常に機能しています。

うまく行かない場合は、まずこの節の最初に行ったコマンドの実行結果を見なおしてください。エラーが出ている場合は、コマンドの入力内容をチェックしてください。

次に、Ubuntuを終了して VirtualBox マネージャーに戻り、仮想マシンの設定を確認します。設定ダイアログの「共有フォルダー」セクションを開き、共有フォルダ「shared」の「自動マウント」が「はい」、アクセス権が「完全」になっているかどうか確認してください。そうでなければ、ダイアログ右端に並んでいる 3 個のボタンの 2 番目をクリックし、設定を変更します。「読み込み専用」のチェックを外し、「自動マウント」にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックしてください。